

栗原市で最後に発生した交通死亡事故は、年9月27日、午後7時55分ごろ、市内栗駒渡丸中島地内、市道宝来上黒瀬線で発生。市道を金成方面から築館方面に運転していた女

性(26)の軽自動車が、歩行者男性(76)と衝突した。市内では旧自治体単交通死亡事故ゼロ100日間を達成した栗原市に祝詞が伝達された



思いがけない 「お宝、発見

くりでん若柳駅

昭和初期の鉄道省小荷物切符

当時の物流や生活知る手がかりに

【栗原文局】2007年3月に廃線となった、くりはら田園鉄道(愛称くりでん、本社・市内若柳)若柳駅で、昭和初期の鉄道省小荷物切符が大量に発見された。当時の物流や生活などを垣間見る貴重な史料で、旧職員らは「思いがけないお宝発見」を喜んでいる。

若柳駅では現在、建築された1920(大正9)年当時の姿を再現する工事が進められている。小荷物切符はその作業中、事務室の天井裏で発見。昭和315年ごろに使用されたもので、ていねいに紙ひもで束ねられていた。

中新田、岩出山、上野、旭川、水戸、尾張一宮、有楽町など全国各地から届いている。荷物の内容も、当時まだ珍しかったであろう自転車、地元にあった劇場や映画館のピラ、鮮魚もちや干し柿などさまざま。高価な荷物を依頼したのか、印紙を張った保証状も一緒に見

つかった。

現在も地元で経営している商店あてに、業や書籍も多く送られている。重さが「斤」、料金が「銭、厘」で記入され、時代を感じさせる。

くりでん事務局長の鎌田健さん(63)は「鉄道が物流を担っていた時代、これだけ多くの荷物が若柳駅を往来し



若柳駅の天井裏で発見された小荷物切符

ていたことの証。大切に保管したい」と話していた。

年の春彼岸の中日、片の午後、全員で「地雷